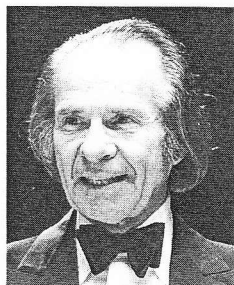
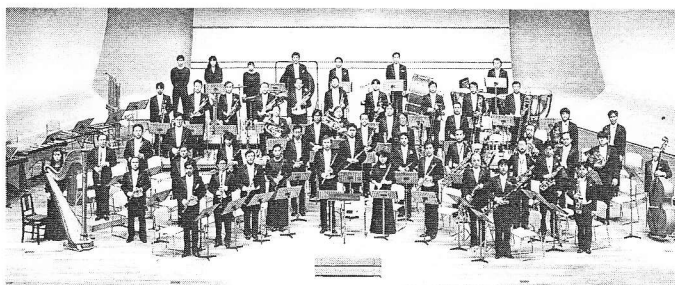


演奏部門

フレデリック・フェネル博士と 殿
東京佼成ウインドオーケストラ



F. フェネル



佼成ウインドオーケストラ

推薦理由

フレデリック・フェネル博士は、ミリタリーバンドとしての吹奏楽の編成から、管打楽器合奏の基本ともいえる“ウインドアンサンブル”という楽器編成を創立させ、イーストマン音楽学校のウインドアンサンブルでマーキュリー・レコード社より数多くの貴重なレコードを残した。

現在、世界各国において、このウインドアンサンブルの形態は取り上げられ、吹奏楽という合奏形態を音楽芸術として発展させた功績はまことに大きい。

推薦内容

1984年に東京佼成ウインドオーケストラの常任指揮者となったF. フェネル博士は、演奏会、クリニック、レコーディングを通して、日本の吹奏楽の発展に寄与する。

その後、日本定期演奏会の他、東京佼成ウインドオーケストラとのヨーロッパツアー、WASBEでの演奏を始め、ミッドウエストバンドクリニックでの尚美ウインドアンサンブル、CBDNAでの神奈川大学吹奏楽部を指揮し、日本の吹奏楽の紹介に積極的に寄与した。吹奏楽のみならず東京佼成ウインドオーケストラの室内楽シリーズの企画・指揮者として、管楽器の小アンサンブルにも力を入れている。

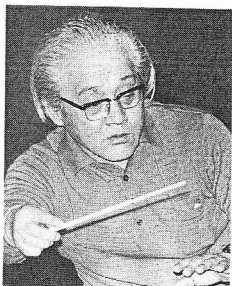
プロフィール

F. フェネル博士は、1914年オハイオ州クリーブランドに生まれた。イーストマン音楽学校、ロチェスター大学で学士号、修士号を取得、後に同校で教授として活躍し、指揮者としても世界各国で活動を行う。1984年から東京佼成ウインドオーケストラの常任指揮者となる。F. フェネル博士はプロの指揮者としてでなく、教育の分野でも優れた実績と貢献をしており、そのエネルギーなパワーはおとろえることなく、また若い音楽家たちに注ぐ情熱も深く厚い。

1960年に創立された東京佼成ウインドオーケストラは、発足当時は、宗教法人立正佼成会を母体とした専属の吹奏楽団であったが、1970年からはプロの吹奏楽団として、メンバーや組織も充実させた。特に1984年から吹奏楽の大御所、F. フェネル博士を常任指揮者に迎えてからの活動はすばらしく、演奏会、レコーディング、クリニックにと日本のプロ吹奏楽団として、アマチュアバンドにあたえた影響は大きい。1989年は、F. フェネル指揮でヨーロッパ各国に演奏旅行し、その音楽性の高さは各地で高い評価を得ている。

作曲部門

故 大 栗 裕 殿



大栗 裕

推薦理由

「吹奏楽の為の神話」や「仮面幻想」などの大栗裕氏の吹奏楽作品が、この数年再び注目され、よく演奏されている。中でも管弦楽作品として作曲され、朝比奈隆氏によってベルリンで初演され、後に氏自身によって編曲された「大阪俗謡による幻想曲」は吹奏楽にとって重要なレパートリーのひとつとなっている。

又この作品は昨年、SHAWNEE PRESS社により出版。特に、1990年度には、国内演奏会における邦人作品中最も多く取りあげられた作曲家である。

推薦内容

1955年、オペラ〈赤い陣羽織〉で作曲家として楽壇に登場。以後、オペラ〈夫婦善哉〉〈地獄変〉〈飛鳥〉など多くの作品を作曲した。なかでも、管弦楽曲〈大阪俗謡による幻想曲〉（後に吹奏楽曲として発表）は、ヨーロッパでも紹介され、好評を得た。我が国の古い民謡を題材にした多くの作品は、ハンガリーの作曲家バルトークと共通性があるということで、「大阪のバルトーク」といわれる。

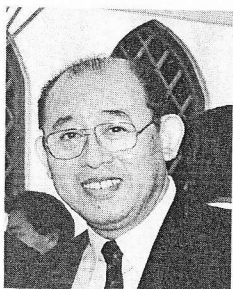
プロフィール

大栗裕は1918年7月9日大阪に生まれ、1941年ホルン奏者として旧東京交響楽団に入団、日本交響楽団、宝塚歌劇団管弦団を経て、1950年関西交響楽団（現・大阪フィルハーモニー交響楽団）に入団、1966年に退団。この間に、京都女子大学教授となり、大阪音楽大学でも講師をつとめた。

1982年4月18日、肝臓ガンのため63歳で惜しまれつつ亡くなった。

研究部門

根 本 俊 男 殿



根本 俊男

推薦理由

1983年に音楽好きの開業歯科医である同士が管楽器奏者に送る福音の書、「すべての管楽器奏者へ」を執筆。体が楽器の一部であることを前提にして、医学的視点から管楽器奏法の正しいあり方を詳しく分析している。又、この本ではアンプシャーの基本から治療の実例を提示し、各楽器奏者の問題点等を医学的に分析する。管楽器奏者が健全な演奏を可能にする為の、舌等口腔内の上手な健康管理を助言しその価値が高く評価されている。

推薦内容

上記著書の外、1990年度は、バンドジャーナルに「デンタルクリニックPART2」として、毎号連載、好評を博していると同時に、横須賀交響楽団の団長として地域文化の向上に貢献している。

プロフィール

1931年神奈川県横須賀市に生まれ、日本大学歯学部卒業。在学中有志と共に横須賀交響楽団を創設し、コントラバス奏者として活躍し、現在は同団の団長をつとめる。

1963年から管楽器奏者のための特殊歯科診療及び研究を始め上記著書を執筆し、各方面から好評を得ている。

現在、東京芸術大学・日本大学芸術学部において、歯と楽器についての講義を持っている。

1991年 第1回日本吹奏楽アカデミー賞

制作部門

(株) 東亜音楽社 殿

推薦理由

同社は、ベルウィン・ミルズ社発刊の「ファースト・ディヴィジョン・バンドメソッド」の日本版を皮切りに、海外の出版社の楽譜を日本版として多くの楽曲を日本に紹介、吹奏楽並びに管楽器の普及に貢献してきた。その後ニューメディアを通じたCD、VTR等の発行をもって、より分かり易くその啓蒙を行い、加えて意欲的に楽譜を出版してきている。その存在そのものが我国の管楽器界、吹奏楽界に寄与する事大であると考える。

推薦内容

1. 1989年12月迄の吹奏楽関連の出版及びCD、VTRの刊行は641点総計200万部以上にのぼる。
2. 1990年1月～12月中の主な関連出版物
 - ・管楽器ソロ名曲集 全33巻の完成
1986年春より刊行を開始し、全11楽器、各3巻、計33巻を1990年10月に完成
 - ・管楽器、楽譜付CDソフトの発行
時代の要請に応え、オーケストラのマイナス・ワンのCDと楽譜をパッケージにして発行
 - ・翻訳出版
待望されていたベルウィン社の Arranging For The Concert Band の日本語版が出版された。

プロフィール

1961年8月代表取締役役員黒三策、本社東京都新宿区神楽坂6-30に設立。1965年5月浅香 淳社長に就任し現在に至る。内外の音楽作品の著作権保有管理、各種音楽作品の著作権保有管理、各種音楽作品の出版を主とする権利出版社として活動を始め、今日まで30年間、吹奏楽関連の出版、ビデオソフトの開発等多岐にわたる活躍をしている。

1991年 第1回日本吹奏楽アカデミー賞

啓蒙部門

日本バンドクリニック委員会 殿

推薦理由

1970年「名古屋一吹奏楽指導者クリニック」を開催するにあたり発足したこの委員会はその後毎年継続して吹奏楽指導者講習会を主催し、今回20周年を迎えた。

1976年以降は会場も「合歓の郷ヤマハミュージックキャンプ」に定着し、名称も「日本吹奏楽指導者クリニックくすくすバンド指導者のための総合吹奏楽講習会」と変わったが、その間常に新譜紹介、国内外のバンド演奏、内外一流指揮者、プレーヤー、指導者の招聘等毎年充実した内容の講習会を企画・開催し日本の吹奏楽界を啓蒙した。

推薦内容

全日本吹奏楽連盟を初め各県教育委員会の後援の下、学校の吹奏楽指導者を対象として豊富な資料とバンド指導のノウハウを20年間にわたり提供し、吹奏楽指導者講習会としては、総合的かつ最大規模のクリニックとして貢献度が高い。

1990年度は、2月に「'90新譜紹介コンサート」、5月には保科洋、小長谷宗一、竹内明彦、小澤俊郎、山崎昌平、後藤洋、兼田敏の各氏が講師にあたり、「日本吹奏楽指導者クリニック」が実施された。

プロフィール

委員会の設立は冒頭に記したが、現在は保科洋氏（兵庫教育大学教授）が代表、赤松二郎氏（大阪音楽大学助教授）、小長谷宗一氏（作・編曲家）、寺井尚行氏（愛知県立芸術大学講師）の3氏が委員、兼田敏氏（愛知県立芸術大学教授）、石崎一夫氏（奈良教育大学教授）、小澤俊郎氏（尚美学園短期大学講師）の3氏が顧問としてクリニック委員会を形成している。